

目標達成計画

作成日: 令和 8年 3月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	「高齢者虐待防止指針」に基づき、虐待防止委員会の実施、研修の実施について、年度内に実施予定のものが、確実に実施して、内容を全職員に共有・周知を徹底する必要がある。	「高齢者虐待防止指針」に基づき、虐待防止委員会の実施と研修の実施に関して、その内容について振り返りの機会も設けて、高齢者虐待又、「不適切なケア」の防止に努める。	「高齢者虐待防止指針」に基づき、2月28日に虐待防止委員会を実施。事業所内で活用している「接遇自己チェックシート」の結果を集計し、その内容について振り返りを行った。日頃から、職員が意識すべき項目をピックアップし、「不適切なケア」の防止の為の取り組みを確認、全職員に共有・周知を行った。又、3月に高齢者虐待防止研修として、「声掛けや、言葉遣い」、「スピーチロック」をテーマに全職員を対象に研修を実施した。引き続き、取り組みを継続、徹底していく。	1ヶ月
2	26	介護計画を見直す際、サービス担当者会議(ケアカンファレンス)の実施について、入居者様・御家族の意向、主治医等の関係者の意見を明確に記録するかたちでの議事録、書式の作成が必要。	サービス担当者会議(ケアカンファレンス)を実施した際は、事前の聴き取りを含み、入居者様・御家族の意向、主治医等の関係者の意見を明確に記録し、その内容を反映させた議事録を確立させる。	サービス担当者会議(ケアカンファレンス)に関する議事録の書式について、事前の聞き取りを含み入居者様・御家族の意向と、主治医等の関係者の意見を明確に記録することを徹底し、又その内容を明記しやすい書式を確立させる。	3ヶ月
3	2	入居者様の地域交流について、コロナ以降交流の機会が減ってしまっている。	入居者様が、日常的に地域交流できる機会を作る。	まずは、自治会や地域の行事に管理者、職員が積極的に参加するようにして、地域の皆さんに事業所の存在を改めて認識して頂けるようにする。その後、入居者様が地域交流できる機会へと繋げていきたい。又、運営推進会議等の機会を通じて、地域の皆さんからの情報を聞き取るようにして、入居者様が地域交流できる場所や行事について確認する。	12ヶ月
4	49	個別の外出の機会を増やしたい。(馴染みのあった場所、入居者様が希望される場所)	入居者様の馴染みであった場所や、「行きたい」と思う希望の場所に出掛けられるように支援していく。	日々のケアや、サービス担当者会議(ケアカンファレンス)の際に、入居者様が外出を希望される場所を確認し、日常的に外出できるように支援していく。又、御家族の協力において外出されている入居者様についても継続できるように取り組んでいく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。